



令和6年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和6年2月2日

上場会社名 株式会社東京一番フーズ 上場取引所 東  
 コード番号 3067 URL <https://www.tokyo-ichiban-foods.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂本 大地  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 岩成 和子 (TEL) 03-5363-2132  
 四半期報告書提出予定日 令和6年2月5日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年9月期第1四半期の連結業績(令和5年10月1日~令和5年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年9月期第1四半期	2,222	7.0	209	55.8	215	44.2	184	59.7
5年9月期第1四半期	2,076	3.5	134	△2.5	149	△59.6	115	△58.1

(注) 包括利益 6年9月期第1四半期 173百万円(508.1%) 5年9月期第1四半期 28百万円(△89.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年9月期第1四半期	20.54	20.53
5年9月期第1四半期	12.99	12.97

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年9月期第1四半期	4,813	1,758	35.4
5年9月期	4,582	1,584	33.4

(参考) 自己資本 6年9月期第1四半期 1,703百万円 5年9月期 1,530百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
6年9月期	—	—	—	—	—
6年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和6年9月期の連結業績予想(令和5年10月1日~令和6年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,246	5.1	371	49.1	286	8.3	298	41.7	33.00
通期	7,701	6.1	232	67.0	220	22.0	165	51.8	18.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	6年9月期1Q	9,030,100株	5年9月期	9,030,100株
② 期末自己株式数	6年9月期1Q	50,974株	5年9月期	50,974株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	6年9月期1Q	8,979,126株	5年9月期1Q	8,891,193株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する説明

当社グループは、飲食事業を起点に、6次産業化を推進し、卸売事業、加工事業、養殖事業を当社グループで展開することで、SCM（サプライチェーンマネジメント）力のある垂直統合型の総合水産企業を目指しております。目的は、グループ飲食店舗のお客様、外販先（飲食業者、小売業者、卸売業者等）とダイレクトに情報共有することで、すべての事業においてお客様視点からの生産・物流等の業務の改善、イノベーションの推進による新たな価値の創造にあります。当社グループの飲食事業におきましては、水産物SCMによるトレーサが確認できる安心・安全な食材の調達と職人の技を駆使した満足度の高い料理・サービスの提供をモットーとしております。また、ポテンシャルの高い海外市場に向けた水産物の事業展開を図るため米国ニューヨーク（以下：NY）に出店しているシーフードレストランにおいては、水産物6次産業化体制を基盤とするサステナビリティが評価されることで業績は順調に推移しております。

当第1四半期においては、国内の消費行動が本格化し、また海外からの旅行者の増加傾向もさらに顕在化してきております。この好機を生かすために、食材・サービスのクオリティ向上の徹底に努めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高22億22百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益2億9百万円（前年同期比55.8%増）、経常利益2億15百万円（前年同期比44.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億84百万円（前年同期比59.7%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間における、各セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (飲食事業)

「泳ぎとらふぐ料理専門店とらふぐ亭」においては、当第1四半期の売上高は前年同期の117%となりました。これは、国内ならびに海外からの旅行者を店舗で獲得できたこと、家庭内の需要を創造するための「ふぐパ」（注）展開において、とらふぐ宅配のWEB戦略強化で全国的な需要を取り込めたこと、店舗デリバリー需要を継続的に獲得できたことによります。

「寿し常」においては、選択と集中戦略の下、当第1四半期の店舗数は前年同期より3店舗減少し、当第1四半期の売上高は前年同期の96%となりましたが、営業利益は大幅に増加いたしました。これは、原価率の適正化と店舗のDX化推進が功を奏したことによります。

NYにおいては、「WOKUNI」の当第1四半期の売上高は前年同期を上回りました。2023年12月の売上は開店以来の最高額を達成することが出来ました。自社平戸養殖場から直送の本まぐろを使った「Tuna Auction」イベントや日本のサステナブル志向の養殖魚を中心とする「おすすめメニュー」が評価されております。今秋に開店する「WOKUNI Broadway」店（米国2号店）の開店準備は順調に進んでおります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における飲食事業は、売上高19億40百万円（前年同期比6.5%増）、セグメント利益1億91百万円（前年同期比83.1%増）となりました。

(注) ふぐパ：登録商標6670843 “おうちでふぐパーティー”を促進するキーワード

## (外販事業)

養殖部門においては、平戸養殖場における「平戸本まぐろ極海一番」の養殖生産ならびに、2023年6月から開始した大分での陸上とらふぐの養殖生産は順調に推移しております。当第1四半期は、両養殖場の更なる生産性向上のための投資と整備に努めてまいりました。

卸売部門においては、北米への輸出事業開始に向けて、当社同様なサステナビリティ志向の生産者との取り組みを開始しております。加工部門においても、人員増強等で加工生産体制の強化に努めております。同時に、生産・加工・流通のSCM力強化のための情報システム（SCMシステム）の充実を図っております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における外販事業は、売上高2億81百万円（前年同期比10.7%増）、セグメント利益18百万円（前年同期比32.9%減）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する説明

## (流動資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べて2億39百万円増加し、25億84百万円となりました。主な要因は、売掛金の増加2億46百万円及び仕掛品の増加34百万円となります。

## (固定資産)

固定資産は前連結会計年度末に比べて14百万円減少し、22億19百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による増加13百万円及び減価償却費の計上による固定資産の減少21百万円となります。

## (繰延資産)

繰延資産は前連結会計年度末に比べて5百万円増加し、9百万円となりました。主な要因は、開業費の計上による増加5百万円となります。

## (流動負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べて1億60百万円増加し、14億8百万円となりました。主な要因は、買掛金の増加1億53百万円及び未払金の増加21百万円となります。

## (固定負債)

固定負債は前連結会計年度末に比べて1億2百万円減少し、16億47百万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少96百万円となります。

## (純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べて1億73百万円増加し、17億58百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益による増加1億84百万円となります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、飲食店舗においては、魅力のあるメニュー提供とサービス・利便性を強化することで、店舗とともに自宅需要を獲得することで、収益の拡大に努めてまいります。また、その基盤となる水産物調達においては、自社養殖のとらふぐや本まぐろを基軸とするSCMの推進による差別化に努め、また、そのスキームを海外における外販事業・卸売事業に展開してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (令和5年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,479,125	1,455,322
売掛金	300,707	547,100
仕掛品	272,424	307,166
原材料	89,054	106,511
その他	203,623	168,812
流動資産合計	2,344,935	2,584,913
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,734,106	1,745,490
減価償却累計額	△1,256,971	△1,275,687
建物及び構築物(純額)	477,134	469,802
機械装置及び運搬具	57,365	79,678
減価償却累計額	△46,481	△47,641
機械装置及び運搬具(純額)	10,883	32,037
工具、器具及び備品	449,750	445,620
減価償却累計額	△408,232	△407,589
工具、器具及び備品(純額)	41,517	38,031
土地	883,878	883,878
建設仮勘定	82,849	64,235
有形固定資産合計	1,496,263	1,487,985
無形固定資産		
ソフトウェア	39,769	37,015
ソフトウェア仮勘定	4,864	4,864
無形固定資産合計	44,634	41,879
投資その他の資産		
敷金及び保証金	556,234	554,281
破産更生債権等	21,478	19,682
繰延税金資産	38,908	41,202
その他	169,800	161,244
貸倒引当金	△94,263	△87,254
投資その他の資産合計	692,159	689,155
固定資産合計	2,233,057	2,219,020
繰延資産		
開業費	4,573	9,789
繰延資産合計	4,573	9,789
資産合計	4,582,566	4,813,723

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (令和5年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	218,253	371,325
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	380,481	379,501
未払金	285,194	306,337
未払法人税等	23,306	37,999
賞与引当金	10,000	22,108
資産除去債務	-	6,485
その他	230,584	184,550
流動負債合計	1,247,821	1,408,309
固定負債		
長期借入金	1,507,656	1,411,633
資産除去債務	220,936	214,577
その他	21,359	21,000
固定負債合計	1,749,952	1,647,210
負債合計	2,997,773	3,055,519
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	530,450	530,450
資本剰余金	438,187	438,187
利益剰余金	563,814	748,289
自己株式	△17,707	△17,707
株主資本合計	1,514,744	1,699,220
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	15,706	4,314
その他の包括利益累計額合計	15,706	4,314
新株予約権	54,342	54,669
純資産合計	1,584,792	1,758,203
負債純資産合計	4,582,566	4,813,723

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和4年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和5年10月1日 至 令和5年12月31日)
売上高	2,076,450	2,222,481
売上原価	827,208	857,245
売上総利益	1,249,241	1,365,235
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	315,652	289,417
雑給	151,638	185,024
賞与引当金繰入額	-	22,108
広告宣伝費	184	-
販売促進費	22,734	28,535
地代家賃	209,981	205,303
減価償却費	14,244	18,147
その他	400,620	407,593
販売費及び一般管理費合計	1,115,057	1,156,130
営業利益	134,184	209,104
営業外収益		
受取利息	8	18
協賛金収入	4,900	290
受取家賃	1,935	2,029
助成金収入	13,072	-
貸倒引当金戻入額	-	4,701
賞与引当金戻入額	-	2,760
その他	4,038	3,532
営業外収益合計	23,954	13,332
営業外費用		
支払利息	3,142	3,959
為替差損	5,207	3,339
その他	601	21
営業外費用合計	8,951	7,321
経常利益	149,187	215,115
特別利益		
固定資産売却益	69	-
新株予約権戻入益	-	693
特別利益合計	69	693
特別損失		
固定資産除却損	20	102
減損損失	-	652
訴訟損失引当金繰入額	5,800	-
特別損失合計	5,820	754
税金等調整前四半期純利益	143,437	215,054
法人税、住民税及び事業税	28,280	32,872
法人税等調整額	△321	△2,293
法人税等合計	27,959	30,578
四半期純利益	115,477	184,475
親会社株主に帰属する四半期純利益	115,477	184,475



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和4年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和5年10月1日 至 令和5年12月31日)
四半期純利益	115,477	184,475
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△87,015	△11,391
その他の包括利益合計	△87,015	△11,391
四半期包括利益	28,462	173,084
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,462	173,084
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。